



浜松志耀ロータリークラブ 第28回例会

開催日時: 2024年3月28(木) 午前7:30 ~ 8:30

開催場所: オークラアクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間

■ 会長挨拶 小澤会長

ロータリアンの皆さんおはようございます。本日はクラブ協議会でございます。宜しくお願い致します。

さて弊社では毎月社員がそれぞれの思いをホームページに月替わりでメッセージとして出しています。4月は施工部副部長皆川のメッセージです。「仕事の効率向上とは」ということについて書いてあるので、少し読ませて頂きます。

桜前線も北上し、春の陽気につつまれる頃となりましたが、相変わらず花より団子(お酒)に心が動く毎日を送っております。皆様におかれましてはお健やかに過ごしの事と存じます。

さて、タイトルにもある「仕事の効率向上」についてですが、私は施工部に所属しているので現場施工での効率向上について考えてみました。現場を円滑に効率良く進めていく為に必要な物として上げられるのは「手順やルール」「完璧な図面」「最新の工具・道具」「最高の技術力」「綿密な工程管理」「快適な作業環境」などなど上げればキリがありません。しかし、まず上記の条件が揃っている現場など存在しないと思います。存在していたらゴメンナサイ。じゃあ、何が重要なのかと言う事ですが、私が考える「仕事の効率向上」の為に必要な物は「相手を思いやる心」だと思います。ルールや手順に従って最新の工具を使って施工をしてもミスをしてしまう時があります。その時に、ミスをした仲間に対して「ルールや手順をしっかり守れ!」「ちゃんと教えてだろ!」と、頭ごなしに言う事が正しいのでしょうか?間違えた事に対して指導や注意は必要だと思いますが、どんなに気をつけていても間違えてしまう時があります。完璧な人間などいません。大事な事はミスをした仲間に対してどれだけ親身になって原因を考えてあげられるかが大切なのではないでしょうか。ミスの原因はその人の知識不足や経験不足からなのか、もしかしたら自分の説明不足が原因かもしれない。そもそも自分達が作った「手順やルール」が誰の何の為にあるのか、本当にこの「手順やルール」がみんなの為にになっているのかを考える事も場合によっては必要なかもしれません。多少効率が悪くなくても全員が守れる手順やルールに変えた方が最終的には効率が良くなる事もあるかもしれません。

話は少し変わりますが、昨年実家の福岡に私の家族と弟の家族が帰省しました。朝は当然全員が時間もバラバラに起きてくるのですが、母は起きてくる一人一人に合わせて朝食を作ってくれるのです。「誰か起きてきた時に一緒に良いよ」と言うのですが、「おなか減ってるでしょ。先に食べれば良いよ」と言って、自分の効率など一切考えず相手の事だけを考えて朝食を準備してくれるのです。母の無償の愛と言うやつなのかもしれませんが、そんな母を見ていると大変有り難く、そして、何か手伝いたいと思い、いつもは伺わない私がついつい片付けを率先して手伝っていました。

その時に、仕事も同じ様に自分の効率ばかりを考えるのではなく、相手の事を思って行動する方が最終的には色々な人が自分を助けてくれて、その結果自分の作業効率も上がるのではないかと思います。とは言っても企業として効率度外視は利益の低下につながるの難しいところではありますが、多少効率が下がっても仲間を思い、行動する事は決して悪い事では無いと思います。

「人生から帰ってくるのはいつかあなたが投げた球」。人に発したモノは良い事も悪い事も巡り巡って自分に返ってくる。そう考えれば誰かの時間や能力を自分の作業効率向上の為に犠牲にするのではなく、お互いに思いやりを持ち、お互い様という感謝の気持ちを持つ事が仕事を進めて行くのに一番大切な事なのではないかと思います。

「縁は“生き物”であり、これに魂を込めていくと“絆”へと変わる」素晴らしい仲間達、そして弊社を支えてくださる全ての皆様との縁を大事に今年度も無事故・無災害を目指し最高の一年にしたいと思っております。ということで結んでくれています。

弊社の社員はみなこのような考えで現場を進めてくれています。本当に感謝です。

以上でございます。ありがとうございました。



■ 議事 クラブ協議会

1. 次年度のクラブ事業の説明 小川会長エレクト

- ・2024-2025年度のRI会長は、ステファニーA.アーチックさん。
- ・テーマは『ロータリーのマジック: The Magic of Rotary』。ステファニーA.アーチック会長エレクトは、「多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げよう」と呼びかけ、「プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」と語った。
- ・2024-2025年度の2620地区のガバナーは、小泉久司さん。甲府西RC所属。ガバナー補佐は、浜名湖RCの内山悦治さん。
- ・2024-2025年度の『地区目標』は、会員増強、公共イメージの向上、地区大会(11月9、10日)への参加など10の目標が有る。
- ・静岡第5グループは、12のクラブに647人が在籍している。
- ・静岡第5グループの合同奉仕事業として、案であるが、530(ゴミゼロ)運動の実施と、第2760地区東三河分区への交流例会が検討されている。
- ・2024-2025年度の当クラブの基本方針として、案であるが、会員のスキルを高める卓話の回数を多くする、会員の仕事をわかりやすくし仕事の機会を広げる等を検討している。

2. 各委員会でのグループ討議 田淵幹事

- ・各委員会に分かれて、次年度の「年間予定表(案)」の検討などを行った。



■ 幹事報告 田淵幹事

1. 4月14日に合同奉仕事業として遠州灘海岸の防潮堤に「黒松植樹」を行う。
午前9時30分に、倉松町4040に、軍手とスコップ持参で集合。参加をお願いします。
2. 例会終了後に、役員・理事会と、予定者会議を行う。対象者は参加して下さい。

■ 新会員入会式 1名

- ・ビネイ・クマールさん 会長より会員証やバッジ等贈呈後、クマールさんから挨拶があった。

■ スマイル

- ①小澤会長・田淵幹事ービネイ・クマールさん入会のお祝い
- ②加藤会員ー会社のCM撮影とパンフレット作成の報告
- ③衛藤会員ービネイ・クマールさん入会のお祝いと、出席委員会への御礼



※出席率：63.6% (会場 16名+BAND 5名= 21名/33名)

国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ
例会場/オークラアクティシティホテル浜松 第2・第4木曜日/7:30-8:30 090-7682-7106

